



# 環境 報告書

## 2024

-Environmental Report-

# 「未来に足りないものは、ありませんか？」

私たちは、いつも問いかけています。  
今を未来へつなげるために、  
人と地球の生命力を高めるために。



私たちは創業以来、常に時代を見つめ、人の暮らしにやさしい環境づくりを目指してきました。創業100年を超えた今も変わることないその理念を、さらにその先へと受け継いでいきます。  
次の時代に必要な、“生きるちから”をつくるために。

株木建設は、2021年に創業100周年を迎えました。  
100年間で築いた高い技術力と使命感を基に、  
持続可能な社会に貢献するため、  
次の100年に向けて歩んでいます。

# 目次

## 企業情報

ご挨拶 / 企業情報 .....	1
品質・環境方針 / ISO9001・ISO14001 認証取得 .....	2

## 環境マネジメント

建設現場の環境マネジメントの手順 .....	3
環境目標の検証と改善に用いる独自の手法 / 「工事現況報告書」アンドン(見える化シグナル) .....	4
本支店での工事検討会 / 本社での工事検討会 / 環境側面への影響低減対策の結果報告 .....	5
現場パトロールでの環境点検(本支店) / 社長・役員パトロール .....	7
ペーパーレス化推進活動 .....	8

## 各部門の取り組み

土木事業本部の環境への取り組み .....	9
建築事業本部の環境への取り組み .....	11
管理本部の環境への取り組み .....	13

## 最近のトピックス

ICT・現場支援室の業務の紹介 .....	15
新入社員研修の実施報告 .....	17
丸株ビル(東京本社ビル)『ZEB READY』取得 .....	18
工事成績優秀企業の認定 / くるみん認定 / 「みなとSDGsパートナー」の登録認定 / 「ニッポンフードシフト推進パートナー」の登録認定 .....	19
表彰等の受領 / 社内の資格保有者数 .....	20



## ご挨拶

代表取締役社長

**株木 康吉**

### 循環型社会の構築を目指したモノづくり

～地域社会の環境保全への貢献～

数々の自然災害が断続的に発生している令和の時代。元年の台風19号に始まり、記録的な強風、集中豪雨などの異常気象が続き、本年元日には能登半島地震が発生し、甚大な被害が後を絶ちません。このような状況の中で、建設業は人々の安心・安全な暮らしを実現するため、防災・減災に向けた社会資本の整備を使命として取り組んで参りました。さらに、次世代へと受け渡していく未来を見据え、環境問題の解決に貢献していくため継続的な改善活動を行っています。

当社では、SDGs 目標達成に向けた取り組み、社会貢献活動、環境関連法規の順守はもちろんのこと、常日頃より環境負荷の低減活動を実施しています。建設資材の3R(リデュース・リユース・リサイクル)

促進、振動・騒音・粉塵といった建設公害の防止、CO<sub>2</sub>の削減など、各作業所において目標を掲げ、全社一丸となって取り組んでいます。

また、2024年3月に竣工した株木グループの新たな拠点となった丸株ビルは ZEB Ready を取得し、省エネ活動の象徴となりました。ソーラーシステムの導入や、高い断熱性能と効率の良い空調システムなどにより、エネルギー消費量の削減を実現しています。

そして、「TPS(トヨタ生産方式)」を建設業にアレンジし、独自の工夫を加えた「KCS(カブキ・コンストラクション・システム)改善活動」を構築、推進しており、仕事の「見える化」を進め、手直しや手戻りを効果的に抑制しています。デジタル技術の活用を中核とした情報共有によって生産性向上に繋げ、確かな品質確保と追求に努めています。

これらの活動は、モノづくりと自然を調和させ、かけがえのない良好な地球環境を次世代へと受け渡していく一助となると確信しています。当社はこれからも、地域社会の環境保全に貢献し、『環境の和』を広げ、人々の生活を支える企業であり続けたいです。

## 企業情報

業態	総合建設業
建設業許可	大臣許可(特-3)第3号
主な事業	土木、建築ならびに関連事業
創業	1921年4月
資本金	27億円
従業員	357名
売上高	335億円

※2023年5月末時点

### 《本支店所在地》

茨城本店	茨城県水戸市吉沢町311-1
東京本店	東京都新宿区下落合3-14-28
大阪支店	大阪府大阪市北区豊崎5-8-17

### 拠点別営業範囲図



# 品質・環境方針

## 品質方針

卓越した技術と施工により、お客様の要求・期待に応える確かな品質の構築物を提供し、厚い信頼と満足を得る。

- ① 迅速で適切な顧客対応を行う
- ② 技術、能力の向上に励む
- ③ 経営の質を改善し、顧客満足の向上を目指す

## 環境方針

環境に配慮した「良い製品」造りと活動を通じて、地球環境の保全と地域環境への貢献を目指して活動する。

- ① 設計・施工・オフィスの各活動を通じて、環境負荷を低減する
- ② 事業活動による環境汚染の予防に努める
- ③ 実行可能なことから環境保全に取り組む

## コミットメント

- ① 品質・環境マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。
- ② 顧客要求事項、関連する法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。

以上、方針達成のために、活動の目的・目標を定め、計画を作成し展開します。「品質・環境方針」は、当社及び社会の要請や変化に対応して、適切となるよう適宜見直し、内部コミュニケーションなどの機会を通じて全従業員に周知するとともに、社外へ公開します。

# ISO9001・ISO14001 認証取得

当社は、ISO（国際標準化機構）認定の外部審査機関（マネジメントシステム評価センターMSA）において、ISO9001 品質マネジメントシステム及び ISO14001 環境マネジメントシステムの認証取得をしています。

20年余、毎年継続して審査を受け、常によりよい製品やサービスをお客様に提供し、環境への取り組みに努めています。



# 建設現場の環境マネジメントの手順

建設工事は、一品受注生産や現地屋外生産などの特徴があり、市街地や山間・沿岸などの広範囲で実施します。このような背景から、**工事着手前**には、建設機械による騒音・振動、地盤の掘削や埋戻に伴う土煙（粉じん）の発生、濁った水の河川への流入などのあらゆるリスクを想定し、これを低減するための施工計画を策定します。

**工事施工中**は、環境側面への影響に対する低減措置が適切に機能しているかを点検し、これを拠点の本支店に「アンドン」で見える化（レベル分け）を行って定期的に報告します。さらに、本支店などが実施する環境パトロールの点検を受けて、建設プロセスにおける環境マネジメントの最適化を図ります。

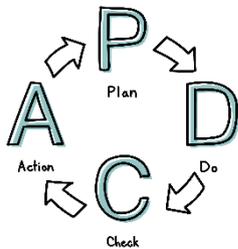
**工事完了後**は、環境管理データを分析し、低減措置の効果を明確にします。さらに、次の同様な建設工事に向けた改善などの評価を行います。この結果を社内で報告して情報の共有を行います。

## 《建設現場》

## 《本支店・事業本部》

工事着手前

### ① 施工計画の策定



建設工事で発生する環境側面への影響に対して、リスク評価を実施して、影響を低減する方法を決めます。

### ② 工事検討会の開催



建設工事を開始する前に、環境負荷の低減対策に問題がないか、本支店又は本社の全管理部門で検討して指導します。

工事施工中

### ③ 現況報告書の提出（定時および緊急時<sup>※1</sup>）



建設工事の施工管理状態を点検します。結果は、シグナルで報告し、支援レベルを決定します。

### ④ 環境パトロールによる現場支援



計画した管理方法と建設現場に問題がないかを診断します。改善が必要な場合は、現場を支援します。

工事完了後

### ⑤ 環境管理データの分析と評価



工事施工中の環境測定記録を基に、環境負荷の低減対策の効果を分析して、定量的に評価します。

### ⑥ 工事結果報告会の開催<sup>※2</sup>



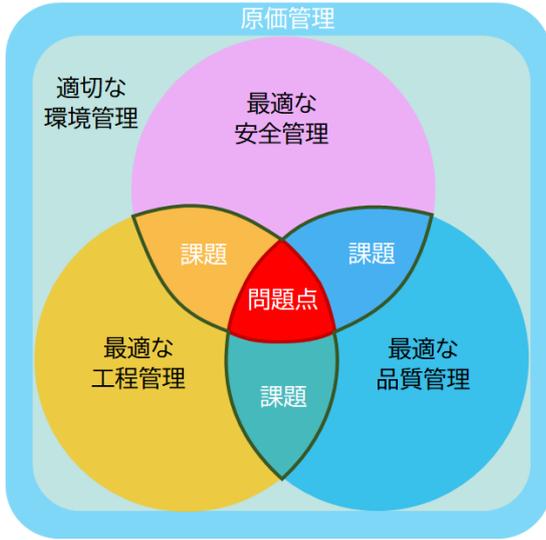
建設工事の施工管理で工夫したことを発表します。この報告データを蓄積して、同様の工事に活用します。

※1 工事の進捗中に想定外のトラブルが発生した場合は、直ちに拠点の本支店に状況を報告し支援を要請します。

※2 工事結果報告会の他に、施工体験発表会や若手発表会により、若手・中堅技術者のプレゼンテーション能力を向上するための取り組みを行っています。

## 環境目標の検証と改善に用いる独自の手法

### KCS 改善活動（カブキ・コンストラクション・システム）



当社は、現場において「工程・原価・品質・安全・環境」に関する不具合を改善し、同じミスを繰り返さないように、また、問題を現場だけで抱えこまないようにする『KCS 改善活動』（カブキ・コンストラクション・システム）を展開しています。これにより、現場と支店および本社事業本部が一丸となって情報を共有し、水平展開をすることによって、良い事例は積極的に各現場に取り入れ、悪い事例は今後のリスク評価に活用しています。

現場は、毎月“アンドン”（見える化シグナル）の「工事現況報告書」により支店へ報告、支店は確認・精査後、本社事業本部へ報告します。本社事業本部はアンドンでサポートレベルを決定し、支援を実施します。

### 「工事現況報告書」アンドン（見える化シグナル）

【問題点・異常の報告】			KCS「見える化」シグナル				
アンドン信号発信（現場担当者記載範囲）※不適合（製品）等			本支店土木部レベル表示及び対応記載、本部も同じ				
対象	内容	対応内容	レベル表示		対応日	対応者	結果
			現場	支店			
環境目標	粉塵・振動作業等の低減に努める。①	粉塵・振動低減機械の採用。 散水による粉塵飛散の防止。	■	■	10/1	土木部長	対応済
	4週8閉所 ②	代休による休日の確保 シフト制の採用	■	■	9/30	土木事業 本部長	対応済
その他環境	これからは、降雨が増える時期となるので、河川への土砂流出等の危険がある。	工場跡地やヤードの最下流に沈砂池を設置し、土砂が河川に流出しない対策を行う。	■	■			

- ① 道路橋耐震補強工事の現場で、現場内に仮置きしていた掘削残土が風で飛び散り、近隣店舗の商品に土埃が付着して苦情が発生した。
- ② 日建連「働き方改革」週休二日の実現を目指す。

#### 《レベル表示の説明》

- ① 「黄色」現場からのシグナル → 現場責任者が苦情発生を支店に報告、土埃飛散防止の対応策を要請した。  
「青」支店からのシグナル → 支店の土木部長が、対応策が適切に実施されていることを確認した。
- ② 「赤」現場からのシグナル → 4週8閉所（週休土日）が困難である。  
「青」本部からのシグナル → 土日閉所に拘らず、休日を確保するよう土木事業本部長がフォローアップ。

アンドンを活用すると、状況分析の5W1H【When“いつ” Where“どこで” Who“だれが” What“なにを” Why“なぜ” How“どのように”】が明確（＝見える化）になり、チェック機能が向上する効果があります。

## 本支店での工事検討会

建設工事は「段取り八分」といわれるほど事前の計画が重要です。そのため、建設現場の責任者は工程表、使用材料や建設機械のリスト、施工の手順と工法、品質・出来形管理、安全管理、環境管理を具体的に記載した「施工計画書」を作成します。計画書は各本支店の工事検討会で工事開始前に審査します。

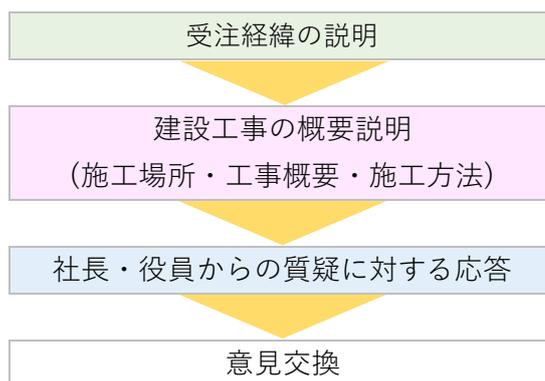
本支店	土木	建築
茨城	7件	9件
東京	1件	6件
大阪	0件	3件
計	8件	18件



## 本社での工事検討会

さらに、請負金額が土木工事は3億円、建築工事は5億円以上の建設現場は、経営トップと各事業本部の責任者が出席する本社工事検討会で施工計画を審査します。

2023年度は、土木部門で5件、建築部門で8件の合計13件の工事検討会を実施しました。



## 環境側面への影響低減対策の結果報告

建設現場の責任者は、工事検討会で指導された環境側面への影響低減対策の結果を検証します。また、改善が必要な事項を提起し、問題点の解決に向けた対応策などを報告します。さらに、これらの情報を共有し、今後の同種工事の環境側面への影響の低減に活用します。

### 《報告事例（抜粋）》

部門	工事区分	発注者	工事検討会での目標	実施結果
土木	港湾工事	都道府県	海洋汚染をしない	オイルフェンス一体型発電機の使用した
土木	下水道工事	地方共同法人	ポンプ場内への作業油・燃料の流出防止	給油は地上又は吸着マット上で行った
土木	道路工事	国土交通省	ダンプ運搬時の粉塵対策	散水車を走らせ、埃の発生を防いだ
建築	商業店舗工事	民間	場内の泥水の流出防止	現場は非常に水位が高い場所であったため、掘削時の湧水の処理にノッチタンクを設置した
建築	商業店舗工事	民間	騒音振動による近隣への配慮	騒音振動計の設置と振動作業の近隣周知により苦情ゼロ

〈実施例1〉騒音・振動低減対策



① 防音シートの設置

作業足場の外側に設置することで、内側の作業音を低減する。



② 低騒音型機械の使用

防音効果の高い機械を使用して内燃機関（エンジン）の騒音を低減する。



③ 敷鉄板の設置

作業ヤードに鉄板を設置して重機や車両の振動を低減する。



④ 騒音振動計の設置

騒音・振動を敏速に測定し見える化する。近隣住民や施主の方への説明にも活用する。

〈実施例2〉粉じん低減対策



① 路面の散水

水を撒くことで土埃の舞い上がりを防止する。



② 運搬車両のタイヤ洗浄

作業ヤードを出る前にタイヤに付着した泥を洗い流す。



③ 敷鉄板の設置

路面を鉄板で覆い、土埃の舞い上がりおよび路面の損傷を防止する。

## 現場パトロールでの環境点検（本支店）

本支店では、管轄するすべての建設工事の現場を定期的にパトロールします。その際、施工計画で定めた環境対策や環境状態に問題がないかを確認します。問題がある場合は改善の指導を行います。

区分	点検項目	確認事項	土木達成率	建築達成率
管理体制	① 緊急事態への対応準備	連絡体制、作業中止基準、対応訓練、用具・備品の常備	100%	100%
	② 環境一般	品質環境方針の掲示、監視測定計画	100%	100%
	③ 環境側面	環境側面の特定（定期的な見直しを含む）	100%	100%
	④ 法規制遵守	該当する法規制の特定（発注者の要求、近隣協定なども含む）	100%	100%
公害防止対策	⑤ 交通対策の措置	工事車両の第三者への影響低減対策	100%	100%
	⑥ 路面の維持、排水処理	届出、規制値の順守、測定記録、濁水処理	100%	99%
	⑦ 埋設物・空中線等の管理	事前調査、管理者立会、作業方法・手順、防護措置	100%	100%
	⑧ 建設廃棄物・建設副産物	事前計画、届出・告知、分別保管、マニフェスト管理	99%	99%
	⑨ 近隣の苦情、要望事項の処理	外部とのコミュニケーション、受付対応手順、対応の記録・報告	100%	100%
	⑩ 飛散・粉塵	事前調査（風向き）、防止対策	100%	99%
	⑪ 騒音・振動、排出ガス対策	事前調査、適合車両の選定、啓蒙教育、届出、規制値順守	100%	100%
	⑫ 土壌・水質汚染防止	事前調査、監視測定、防止対策	97%	100%
	⑬ 地盤沈下	施工方法、予防対策、監視測定	100%	100%
健康障害予防	⑭ アスベスト対策	事前調査、作業計画・届出、飛散・漏出防止措置	100%	100%
	⑮ 有機溶剤・特定化学物質	SDSの確認、リスクアセスメントの実施、保管管理	98%	90%

※土木及び建築の達成率は、三拠点（茨城・東京・大阪）の環境パトロール点検の評価点の合計を平均した値です。



## 社長・役員パトロール

会社経営の基盤である建設工事の現場を、社長および役員による参画の下、実地確認します。

部門	環境に関する点検項目のコメント
土木	公道を規制しての作業となるので、作業前には重機業計画の打合せを必ず行い、旋回方向の限定、合図と誘導の徹底を指導し災害防止に務めること。
土木	路上作業での下水道工事において交通誘導、酸欠防止対策、雨天時の作業中止等の取り組みが確実に実施されていると評価できる。
土木	河川側での重機作業となるので、重機点検の際、特に油圧ホース接続部に注意し、接続箇所は防護シートで養生して、河川への油流出防止に務めること。
建築	市街地での解体工事では、廃材の搬出時などに第三者との接触防止に注意して工事を進めること。
建築	使用している施設内での工事なので、工事関係者の安全通路を整備し、施設に出入りする車両との動線を確実に分離し災害防止に務めること。
建築	S造建物の床、デッキプレートの溶接作業を実施する際に、下層との上下作業の調整ならびに防火養生を確実に実施すること。



## ペーパーレス化推進活動

東京本社ビル移転に伴い、該当部署のペーパーレス化を一斉に実施しました。各部署の書棚や書庫に保管している文書について、原本保管・電子化・廃棄するものに分類し、50%以上の紙書類の削減を目標として活動を行いました。

### 「ペーパーレス化」とは？

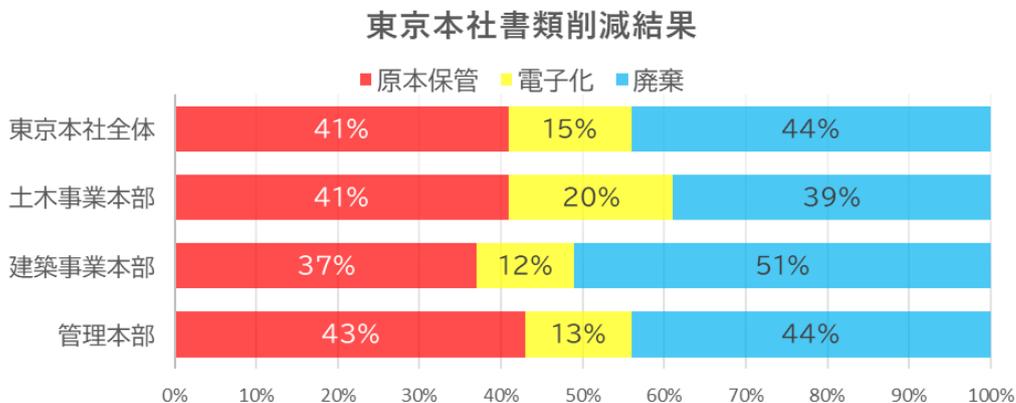
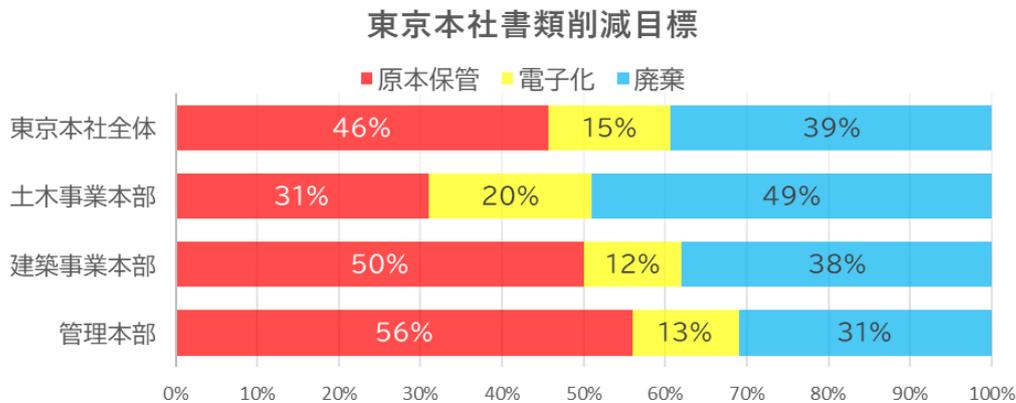
従来の紙を使用した文書を電子化して、データとして活用・保存することです。例えば、パソコンで作成した会議や報告書の資料、経理書類などをプリンターで出力（印刷）せず、電子文書で保存します。

### ペーパーレス化のメリット

- ・文書の検索が容易になる
- ・紙代・印刷代・保管スペースのコスト削減ができる
- ・情報の修正および共有がスピーディーかつ簡単になる
- ・情報漏洩および紛失のリスクを低減できる
- ・紙の使用および廃棄を削減して森林とその周辺環境を保護できる

### 《結果》

東京本社全体で59%（電子化15%+廃棄44%）の紙書類の削減が達成されました。



建設業法や労働安全衛生法により、紙による保存期間が定められている文書がありますが、今後はデジタル改革関連法や電子帳簿保存法等に準拠して更なるペーパーレス化を推進します。

## 土木事業本部の環境への取り組み

### SDGs の達成目標との関連性

SDGs 達成目標	土木事業本部の環境目標	運用計画
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	1. 労働環境の向上のため、4週8閉所の実現を目指す。 <b>【目標値】</b> 全作業所の 65%	① 本支店工事検討会にて指導する。 ② 工事現況報告書で状況を把握する。
 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	2. 環境改善に努め、重大な(環境)不適合を発生させない。	本支店工事検討会において予防処置を検討し、安全パトロールにて状況を確認する。
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	3. 維持修繕及び補強等に関する工事へ積極的に入札参加(10件)し受注する。	脱炭素社会づくりに貢献するため維持修繕等工事を検討し、積極的に営業活動を推進する。

### ◇建設現場の遠隔臨場

「遠隔臨場」とは、ウェアラブルカメラやネットワークカメラを利用して、現場に行かなくても離れた場所で検査や立会を実施するシステムです。このシステムのメリットは、**移動時間や待機時間の削減、人手不足の解消、感染症対策**など、**建設工事の生産性を向上**する方法として普及が進んでいます。

《 発注機関事務所 》



リアルタイム化

《 建設現場 》



見たい箇所や視野の拡大などの指示を音声で伝えます。

検査者の指示に従ってカメラの視野を移動して動画を送信します。

環境目標	目標値	目標達成率	評価
4週8閉所の実現	全作業所の 65%	69% (目標の 106%)	国の直轄工事を中心に4週8閉所が普及している。今後は地方自治体等へも休日確保の取り組みを働きかけて理解を得る必要がある。
重大な環境不適合の発生防止	ゼロ	ゼロ (目標の 100%)	事前の予防処置に加え毎月の現場パトロールにより、職員の意識が高まってきている。今後も引き続き行っていく。
環境関連工事の受注	10件	6件 (目標の 60%)	入札件数に対して環境関連の工事は50%以上あったが受注にいたらなかった。入札件数は十分なので今後は受注につながる営業活動を行う。

## 津波高潮対策のための水門築造

>>大洗作業所<<



東日本大震災で大洗港は津波による大きな被害を受け、特に水産ふ頭地区で甚大な被害が発生した。これを教訓に防波護岸の改良、防潮壁の整備、水門工事などを実施し、漁港入り口に水門を築造する工事を行った。

120t吊タワークレーンを使用し陸上から施工



完成

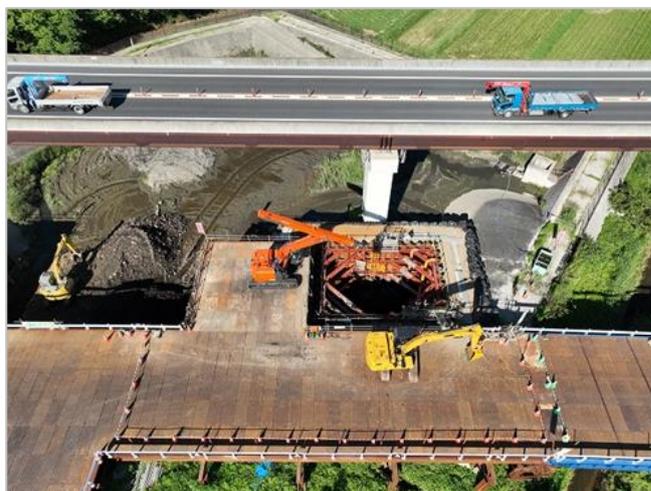


## 首都圏中央自動車道の早期4車線化へ向けて

>>成田作業所<<



圏央道の久喜白岡 JCT～大栄 JCT 間は 2 車線で慢性的な渋滞が発生。これを解消するため、4 車線化が進められている。交通の円滑化やリスク低減により物流の効率化を図り、企業立地の促進や観光の利便性向上が期待される。インバウンド観光の増加も見込まれている。



# 建築事業本部の環境への取り組み

## SDGs の達成目標との関連性

SDGs 達成目標	建築事業本部の環境目標	運用計画
 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>1. ステークホルダーからの要求事項を遵守する &gt;&gt; 重大な不適合ゼロを目指す。</p>	<p>本支店工事検討会において要求事項を「見える化」し、その遵守方法と、万が一発生した不具合に対する対応手順を明確にする。</p>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>2. 脱炭素社会に向けた貢献 施工時 CO2 削減活動への取り組み &gt;&gt; 活動による削減率 3.0%以上</p>	<p>現場における再エネの採用や重機械省エネ運転への取り組みなど、エネルギーの削減に向けた活動を現場と一緒に考える。</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>3. 4週8休の実現 &gt;&gt; 全稼働現場の50%以上を実現目標とする。</p>	<p>営業部との連携による発注者への理解（特に民間）と、生産性向上も視野に入れた工程管理の徹底を実践していく。</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>4. お客様との打ち合わせにて環境に対する建物評価等の取得意思の確認、先方に知識の不足があれば説明し提案する。</p>	<p>「ZEB・ZEH(BELS)」 「CASBEE」等の評価等についてお客様に説明・推奨できるように、社員の知識の向上を図る。</p>

### ◇ステークホルダーの要求事項を遵守



- ・騒音振動計を設置、更に数値を『見える化』
- ・高さがあり、清潔感を持たせた仮囲い

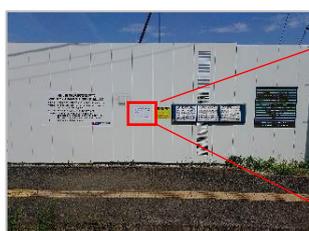
解体現場における周囲への環境対策

### ◇施工時 CO2 削減活動への取り組み



過積載の絶対管理を行い CO2 排出量の増加を抑制

### ◇4週8休の実現に向けて



この工事は週休二日制の実施に取り組んでいます。

株木建設㈱

週休2日制を現場にて表示

### ◇環境評価を受けた建物の設計



『ZEB Ready』の設計実績 『CASBEE 評価 A』の設計実績

環境目標	目標値	目標達成率	評価
要求事項の遵守	不適合ゼロ	不適合の発生のゼロ	利害関係者が求める特異的要求事項を理解し、的確な施策の検討と周知を実践できた。
脱炭素社会への貢献	CO2 削減率 3.0%以上	CO2 削減率 2.9% (目標の 96%)	目標値には達しなかったが、昨年よりは数値的に向上している。各作業所とも省エネに対して意識が高まってきている。
4週8休の実現	全稼働現場の 50%以上	閉所率 12% 8休率 25%	職人不足・資材の不足により工事後半に工程が押された原因もあり目標には達しなかった。
環境評価の設計業務	環境評価の設計実績を作る	『ZEB Ready』 『CASBEE 評価 A の取得』	環境評価の業務が増加する傾向の中で、若手社員担当で 2 物件の実績が作れたのは今後の強みになる。

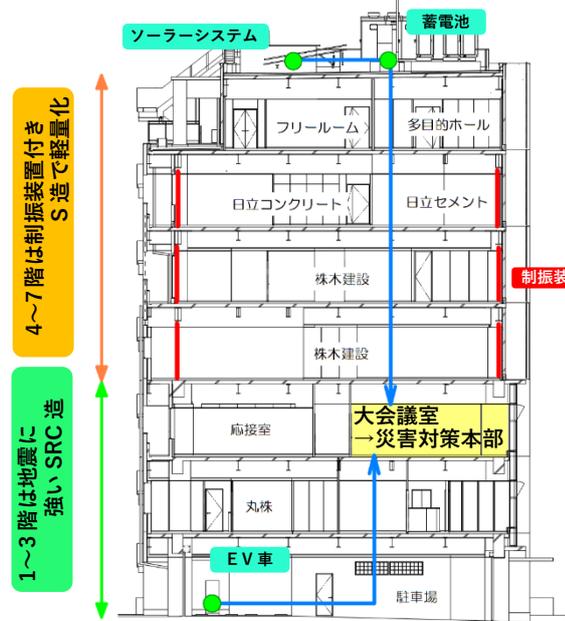
## グループの拠点を新宿の下落合に

>>災害時には全国に展開する株木グループの拠点になる様に考慮した設計<<



下層は地震に強く、上層は軽量化した、災害に強い構造を実現  
被災後、停電しても災害対策本部として活動できる建物

停電時ソーラーシステムからの給電



EV車からの給電も可能

屋上ソーラーシステム



制震装置

地震や日常的な風による微震の減衰を行う



駐車場に外部電源 (EV車) 接続システムを設置

## 2つの施設を統合した建物

>>水戸市斎場<<



焼却プラント業者との工事、社員の実績からノウハウを生かした施工



水戸市が『すべてにやさしく、思いやりと安らぎを感じられる斎場を目指して』をコンセプトに将来を見据えた計画物件を受注。

当社で手掛けた式場 (斎場) と焼却場という、用途の異なる施設の施工実績を生かし、ワイガヤで取り組む工事。



## 管理本部の環境への取り組み

### SDGs の達成目標との関連性

SDGs 達成目標	管理本部の環境目標	運用計画
 	1. 企業価値向上のため、社会貢献活動への取り組み・参加を推進する。 <b>【目標値】</b> 年 10 回以上の実施・参加	① 店社所在地での地域貢献活動の実施、または、関係団体等の主催する社会貢献活動への参加、協力等 ② 上記活動状況を記録、全社での実施・参加状況を水平展開し、全社員への社会貢献取り組みに対するモチベーションを高める。

### ◇地域の環境保全活動への参加

#### 《活動概要》

地域環境活動の一環として各本支店周辺の定期的な清掃活動を実施しています。また、行政機関等が主催・後援する環境保全活動にも参加しています。



「綾瀬排水機場危機管理対応訓練」に参加  
 災害協定に基づき、近年の急激な大雨増水による河川氾濫を未然に防ぐため実施された官民合同訓練講習に参加しました。

### ◇協賛マラソン大会、ロードレースへの参加



#### 《活動概要》

地元地区の経済活性化や地域の方々との交流を目的として、水戸フルマラソン大会「水戸黄門漫遊マラソン」、「目白ロードレース」等に協賛し、当社から社員多数がランナーとして参加しています。

環境目標	目標値	目標達成率	評価
社会貢献活動の実施	10 件/年	10 件/年 (目標の 100%)	昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で目標達成率 50%であったが、今年度は地域のイベントが再開され、目標件数を達成した。 今後も、積極的に当社の環境活動を実施し、地域貢献となるイベントへの参加を促す。



## 請求書業務をシステム化し経理業務の効率化を図る

2023年10月から始まったインボイス制度、2024年1月に改正された電子帳簿保存法への対応を行うとともに、ペーパーレス化を図り働き方改革を推進します。

2023年9月より、取引先から受領する請求書をクラウド上で受領する『**クラウド請求書受領サービス**』を導入しました。従来は紙で受領していたため、請求書処理に付随する業務は紙がないと行えず、また、大量の紙を保管する必要がありました。このサービスを導入することで、取引先は請求書の電子データを当社に送付することが可能になり、紙の請求書を作成する必要がなくなります。当社は請求書データをクラウド上で確認することが可能になり、場所を選ばず請求書に付随する業務を行うことが可能になりました。また、**紙の請求書を受領、保管しなくなることで、ペーパーレス化を進めています。**

## 請求書受領から、月次決算を加速する



### ① 請求書の集約

あらゆる請求書を  
オンラインで受け取る

### ② 正確・迅速なデータ化

精度99.9%、数時間で  
形式を問わずにデータ化

### ③ 送付・受領体験の進化

企業間のつながり情報を用いて  
スピーディーな請求書の授受を実現

サービス導入直後ではサービス利用率が60%程度でしたが、2024年2月において80%を達成しました。これは、請求書を発行する取引先においても、紙の削減や郵送費用の削減が可能になるなどメリットがあることをご理解、ご協力いただいた結果と考えています。

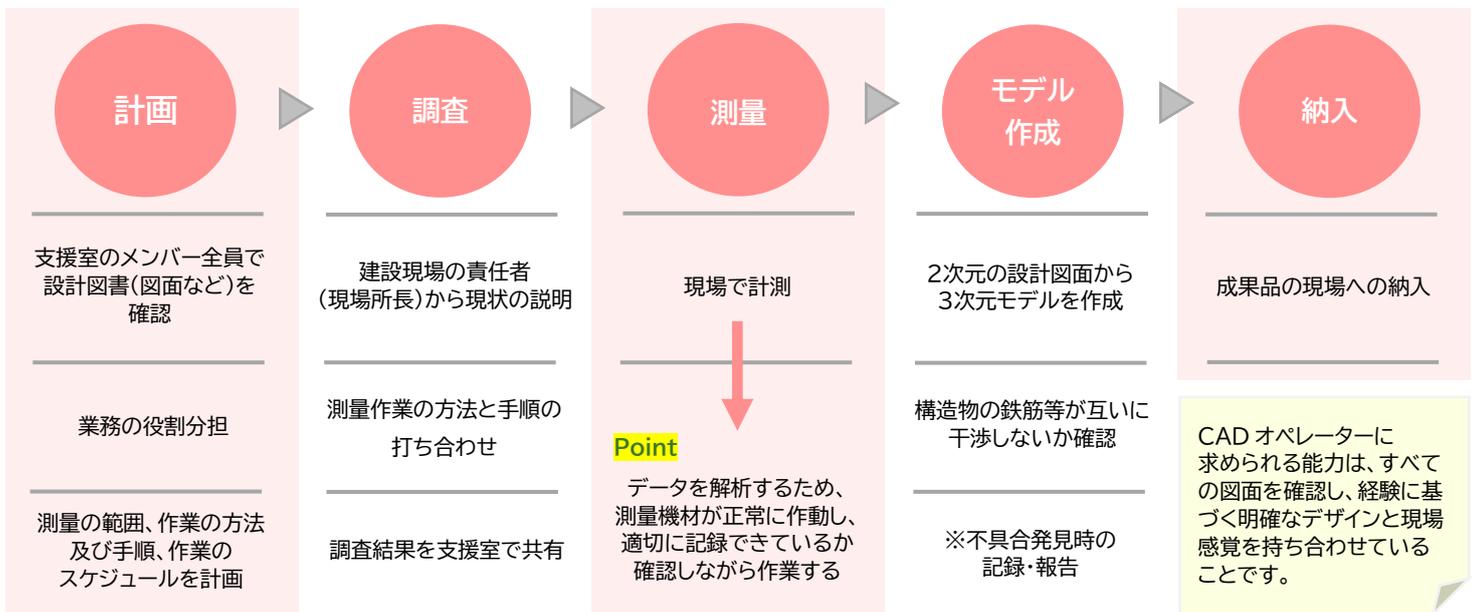
# ICT・現場支援室の業務の紹介

## 情報通信技術（ICT）を活用した測量及び3次元モデルの融合 建設工事の生産性の向上を目指して



工事の開始前の現地測量（位置・標高）は、従来から二人一組で行い、現場の隅々を移動して測量を行います。しかし、この方法では屋外作業が数日間にわたり、測量データの整理や製図に多大な労力と時間を必要とします。そのため、省力化と省人化を目的に、地上型レーザースキャナーを使用することで、現地での測量が一人で可能になります。これによって、デジタル空間で地形データと3次元モデルを重ね合わせて、視覚的な効果（見える化）による施工の効率化と安全性の向上を支援します。

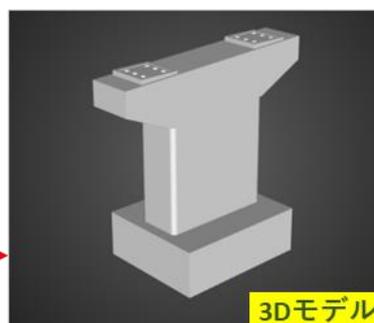
### ICTを活用した業務支援の内容



左図の機材は、360度回転しながらレーザーを照射し、ミリ単位の密度で点群データを計測します。ただし、機材の真下や構造物の裏側は計測ができないため、一定の間隔で移動します。

### ◇ 成果品の現場への納入

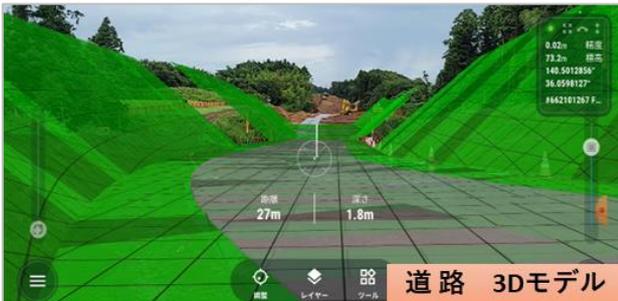
作成した地形データや3次元モデルは、施工への応用や発注者及び住民への説明資料に使用します。また、完成後に構造物をスキャンしてデータ化し、デジタル空間で形状寸法の計測が可能になります。



## 拡張現実（AR）の活用

### 拡張現実（Augmented Reality : AR）とは

現実世界から得られる視覚の情報に、コンピュータグラフィック（CG）を補足した技術です。  
例えば、専用のゴーグルやモニターなどを通して見た現実の風景に、CGを重ね合わせて表示します。



### 《活用目的・効果》

- 現実の画像に、建設工事の完成 3D データを重ね合わせることで、これまでは具現化が困難だった立体的な完成イメージを「見える化」できます。
- 人工衛星の GNSS 位置情報を応用して、現地で構造物等の 3D モデルを AR で確認できます。
- 完成イメージを工事関係者の全員が共有することで、ムリ・ムダを省いた施工が可能となります。

### 〈画像の色分けの例〉

- 灰色 ⇒ 道路
- 緑色 ⇒ 法面
- 黄色 ⇒ 構造物(橋梁の土台(橋台))

## 3次元プリンターの活用

### 3次元（3D）プリンターとは

3次元データをもとに、合成樹脂や石膏粉末をノズルで吹き付けて積層にする方式や、光硬化性樹脂に紫外線を照射して硬化する方式により、立体物を造形する装置です。



### 《活用目的・効果》

- レーザースキャナーで計測した地形の情報をデータ化し、3次元プリンターで出力してジオラマ模型を作成します。
- 地盤の起伏や縮尺寸法が明快なため、土地の利用方法や構造物の景観に対する影響検討などに活用できます。
- 従来は紙の図面を用いた説明の方法のため、発注者や住民からの理解を得ることが困難でした。しかし、立体的なジオラマ模型を用いることで、建設工事の調整や合意形成の効率化が期待できます。

## 新入社員研修の実施報告

2024年4月に土木10名、建築11名、営業2名の新入社員が入社しました。

入社後は、全体研修の修了後に部門別の研修を受け、配属先へ移動となります。短い期間ですが、互いに協力して実務に必要な基礎知識を学びます。また、研修期間中は、若手の先輩技術者が配属されますので、仕事に対する心配ごとなどを相談しやすい環境を整えています。

### ◇全体研修のスケジュール例

日程	午前	午後
1日目	オリエンテーション	会社の諸制度の説明
2日目	ビジネスマナー（外部講師）	ビジネスマナー（外部講師）
3日目	ビジネスマナー（外部講師）	ビジネスマナー（外部講師）
4日目	健康診断	自動車運転の技量講習
5日目	低圧電気取扱の特別教育	建設業法、社内システム説明
6日目	安全管理	安全管理
7日目	墜落制止用具の特別教育	墜落制止用具の特別教育



（研修開催場所：茨城本店会議室）

### ◇土木事業本部の研修スケジュール例

研修内容	期間
土木についての概要説明	1日間
測量実習(レベル, 光波)	5日間
放射トラバースの実習	2日間
現場見学(稼働作業所, バイオプラント)	1日間
現場管理ソフト(デキスパート)の実習	1日間
工事写真の撮影方法, 保管について	1日間
設計図書書面, 施工計画書について	1日間
ドローンの講習, 実習	1日間



（研修開催場所：神立資材センター内）

### ◇建築事業本部の研修スケジュール例

研修内容	期間
建設業のガイダンス	2日間
ソフトウェア (Word, Excel) の入力実技	3日間
CADソフト (Jw-cad) の基本操作と、施工図の読み方について	2日間
現場測量実習	2日間
現場管理アプリの基本操作と実務訓練	2日間
基本的な数量拾い	1日間
資格取得に向けたガイダンス	3日間



（研修開催場所：つくば支店・機材センター他）

## 丸株ビル(東京本社ビル)『ZEB Ready』取得

株木グループの東京での新たな拠点となった丸株ビルが『ZEB Ready』を取得しました。



### 『ZEB』とは？

Net Zero Energy Building の略称で快適な室内環境を実現しながら建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

当建物は『ZEB Ready』(基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギーの削減を実現した建物)の承認を得ることが出来ました。

### 『ZEB Ready』を取得するために

建物の一次エネルギーに対する消費量を 50%以上下げる設計を行いました。  
[BEI(建築物エネルギー消費性能誘導基準)の目標値を 0.5 以下とする]

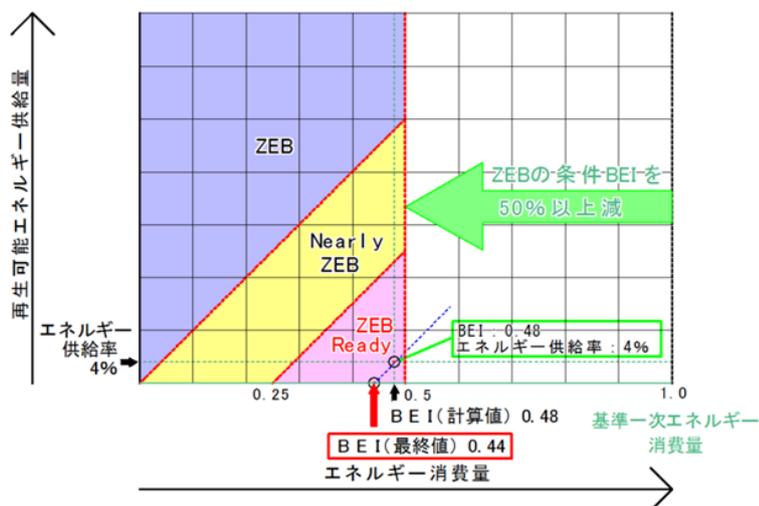
- ① 建物を高断熱化する。外皮面(外壁・屋根)の断熱性能を上げる。  
窓には Low-E ガラスを用いて、夏は熱を吸収しにくく、冬は熱が逃げにくい建物を実現。
- ② 高効率の空調、熱交換換気システムを導入して消費電力を抑えた空調システムを設定。
- ③ LED 照明、人感センサースイッチによる節電設計。
- ④ 化石燃料を使用せず電力のみでのエネルギー供給  
さらに再生可能エネルギー(ソーラーシステム)の導入。

### ◇丸株ビルの省エネ性能

	一次エネルギー消費量(GJ/年)【その他を除いた数値】	
	設計値	基準値
(空調・換気・照明・昇降・他) 合計	2,180.9 【1,597.5】	3,959.0 【3,375.7】
太陽光発電 (PV)	113.42	—

建築物エネルギー消費性能誘導基準 R4 年 10 月基準算定 BEI (計算値) = 0.48(設計値/基準値)  
エネルギー供給率 = 4.0% (発電量/エネルギー消費量) **BEI (最終値) = 0.44**

### ◇「ZEB Ready」の取得



令和 6 年 8 月取得

## 工事成績優秀企業の認定



国土交通省（港湾空港部を除く）の発注工事において、過去2カ年度に完成した土木工事（3件以上）を受注した企業の工事成績評定点の平均点を算出し、企業の工事成績評定結果のランキングを作成して審査を行います。

当社は、関東地方整備局が発注した2022年度・2023年度の12件の土木工事において、請負工事成績評定で平均80点を取得し、上位76社の一企業として昨年度に引き続き工事成績優秀企業の認定を受けました。

認定された工事成績優秀企業は、工事を受注した際には発注者が行う中間技術検査を省略することができます。また、総合評価方式において企業の評価が優位となり、工事受注の機会が増加します。

## くるみん認定



次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けることができます。

「くるみん」という愛称は一般公募で決まったもので、会社ぐるみ・組織ぐるみで子育てに取り組む、子供を優しく包んでいくという意図が込められています。

当社では取得要件を満たしたため、2024年中の認定を目指し2024年7月に申請いたしました。企業が持続可能な発展をするためには、社員一人ひとりのパフォーマンス向上は必須です。

社員の仕事と家庭の両立について継続して取り組み、子育てと仕事を両立できる魅力ある職場環境の整備を目指します。

## 「みなとSDGsパートナー」の登録認定



国土交通省港湾局は、2022年「みなとSDGsパートナー」を創設しました。これは、港湾建設業などの事業活動の取り組みと、SDGsの関連性について「気づき」を促し、日本の港湾の持続的な発展を目的としたものです。

当社は、技術力やSDGsへの取り組みが認められ、第1回登録事業者として認定されています。

## 「ニッポンフードシフト推進パートナー」の登録認定



官民協働で農業・農村の取り組みや魅力を発信し、消費者と生産者の距離を近づけ、国産農産物を積極的に選ぶといった行動変容に繋げることを目的とした国民運動である「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」の推進パートナーに登録しました。

## 表彰等の受領（抜粋）

令和5年6月から令和6年5月までの間に受領した表彰等の抜粋です。

種別	表彰者	受賞工事等
表彰状	国土交通省 関東地方整備局	工事成績優秀企業表彰
表彰状	国土交通省 関東地方整備局	R3 那珂川左岸百色山排水樋管改築工事
表彰状	国土交通省 関東地方整備局	R4 圏央道つくば地区改良工事
表彰状	国土交通省 関東地方整備局	R3 東関東中根地区下部その1工事
表彰状	国土交通省 関東地方整備局	R4 圏央道尾羽根川橋下部その2工事
表彰状	国土交通省 関東地方整備局	R4 国道17号新大宮バイパス下赤塚高架橋基礎補強その1工事
表彰状	国土交通省 関東地方整備局	R2 国道4号東埼玉道路中川連絡線下部その3工事
感謝状	筑西広域市町村圏事務組合	桜川消防署庁舎建設工事
表彰状	筑西市長	明野五葉学園整備工事

## 社内の資格保有者数



有資格者は建設企業の原動力であり、社員の成長を支援することが企業の務めであると考えます。

当社は、人材の育成のため各種資格の取得に向けた支援を実施しています。例えば、受験対策資料の作成や実力テストの実施、通信教育の受講料補助、資格学校との連携などがあります。

資格名	2023年度 新規登録者	累計有資格者数	摘要 ※2	資格名	2023年度 新規登録者	累計有資格者数	摘要 ※2
技術士	0名	※1 7名	国	1級建築施工管理技士	0名	91名	国
構造設計1級建築士	0名	2名	国	2級建築施工管理技士	2名	7名	国
1級建築士	1名	28名	国	1級管工事施工管理技士	2名	5名	国
2級建築士	0名	16名	国	1級電気工事施工管理技士	0名	5名	国
測量士	0名	13名	国	甲種火薬類取扱保安責任者	0名	43名	国
1級土木施工管理技士	2名	105名	国	コンクリート診断士	1名	4名	民
2級土木施工管理技士	6名	17名	国	コンクリート技士	3名	19名	民
1級造園施工管理技士	0名	15名	国	海上工事施工管理技術者	0名	6名	民
宅地建物取引士	1名	9名	国	1級建設業経理士	0名	3名	民
簿記検定1級	0名	2名	国	2級建設業経理士	1名	24名	民
簿記検定2級	0名	5名	国				

※1 技術士（建設部門）：6名、技術士（農業部門）：1名

※2 国：国家資格 民：民間資格

# 環境報告書 2024

2024（令和6）年9月1日発行

株木建設株式会社  
<https://www.kabuki.co.jp/>

〒161-0033 東京都新宿区下落合三丁目14番地28

法律で認められた行為を除き、本報告書の記載内容の転載は必ず許可を得てください。



登録商標 第6057557号

## ロゴカラーが象徴しているもの

■ …太陽、情熱 ■ …芽、成長、環境との調和 ■ …道、やり遂げる粘り強さ

## ロゴマークに込めた思い

すべての生命を明るく照らす**太陽**のように。

大地に根を張り、成長していく**芽**のように。

情熱を湛えながら粘り強くやり遂げる、永い**道**のりのように。

当社のイニシャルである「K」をモチーフに、新しい道を切り開いていく  
開拓者としての私たちのあるべき姿を表しています。

私たち株木建設は100年の伝統を活かし、未来に向けて社会に貢献し続けていきます。



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**

